



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <http://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 近藤 和宏

TEL 03-5977-5002

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	36,789	18.6	9,782	28.8	10,010	28.1	7,226	24.3
2020年3月期第2四半期	45,170	4.9	13,744	11.2	13,929	11.1	9,547	8.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 8,135百万円 (12.3%) 2020年3月期第2四半期 9,279百万円 (5.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	186.15	
2020年3月期第2四半期	242.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	161,039	131,552	81.7
2020年3月期	157,875	128,468	81.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 131,552百万円 2020年3月期 128,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		75.00		75.00	150.00
2021年3月期		75.00			
2021年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,200	13.5	18,100	31.7	18,500	31.3	13,400	30.8	348.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	45,939,730 株	2020年3月期	45,939,730 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	7,441,022 株	2020年3月期	7,022,576 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	38,821,804 株	2020年3月期2Q	39,362,820 株

(注)期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2021年3月期2Q 39,400株、2020年3月期 41,100株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年3月期2Q 40,450株、2020年3月期2Q 0株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、減収減益となりました。売上高は36,789百万円(対前年同期比18.6%減)となり、その減少の主たる要因としては、薬価改定の影響及び新型コロナウイルス感染症拡大による医療機関への受診抑制等の影響があげられます。

利益面では、売上高の減少により、営業利益は9,782百万円(対前年同期比28.8%減)、経常利益は10,010百万円(対前年同期比28.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,226百万円(対前年同期比24.3%減)となりました。なお、研究開発費につきましては3,267百万円(対前年同期比2.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①薬業

医薬品・医療機器につきましては、関節機能改善剤「アルツ」、爪白癬治療剤「クレナフィン」の売上減少などにより減収となりました。その背景としましては、薬価改定や新型コロナウイルス感染症拡大による医療機関への受診抑制の影響などがあげられます。

農業薬品につきましては増収となりました。

この結果、売上高は35,611百万円(対前年同期比19.0%減)、セグメント利益(営業利益)は9,089百万円(対前年同期比30.1%減)となりました。

なお、海外売上高は2,119百万円(対前年同期比28.5%減)となりました。

②不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は1,178百万円(対前年同期比1.3%減)、セグメント利益(営業利益)は692百万円(対前年同期比5.5%減)となりました。

<新型コロナウイルス感染症の拡大への当社グループの対応及び事業・業績への影響>

新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大する中、当社グループは、高品質な医薬品を安定的に供給することを社会的使命と考えております。取引先企業とも連携し、安定供給は維持されており、現時点においても当社医薬品の生産及び医療機関への供給体制に支障を来すような事態は生じておりません。今後も社員の感染予防・体調管理・検温体制の整備などを徹底し、感染拡大防止に配慮したうえで安定供給に向けて最善を尽くしてまいります。

当社グループの取り組みに関わらず、新型コロナウイルス感染症による影響が当社の想定を超えて深刻化、長期化した場合には、医薬品の供給体制や研究開発活動にも影響が生じたり、それらが繰り返される可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が減速または収束した場合であっても、当社グループの事業活動、財政状態及び経営成績に対して、一定期間継続して影響を及ぼす可能性があります。

(実施している感染防止対策)

新型コロナウイルス対応本部を設置し、3月より全社員に対し時差出勤、在宅勤務、発熱(37度以上が目安)等があった場合の出勤自粛等の感染症対策を講じております。また、医薬情報担当者(MR)等の情報提供活動に関しましては、デジタルツール等も活用し、医療関係者のニーズに合わせて実施しております。なお、医療機関に訪問する際は、十分な感染防止対策を講じております。

(業績への影響)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関への受診抑制などにより、当社グループの業績に影響が生じており、今後も継続して影響が生じることを想定しております。

(研究開発活動への影響)

患者さんや治験実施医療機関の安全性確保と負担軽減を最優先して治験を実施しております。一部の医療機関においては治験業務の遅延等が発生しておりますが、現時点でスケジュールに大きな遅延はありません。

以上のように、当社グループの事業活動・業績が新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けておりますが、今後も時差出勤、在宅勤務、ICT(情報通信技術)を活用したリモートワーク環境の整備・拡充を積極的に行うことによって、働き方改革を推進し、生産性の向上に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は161,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,164百万円の増加となりました。これは主に、商品及び製品の増加によるものであります。

負債は29,486百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等の増加によるものであります。

また、純資産は131,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,083百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は、81.7%(前連結会計年度末81.4%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,344百万円増加し、74,666百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、6,691百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、288百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5,059百万円の支出となりました。これは、配当金の支払と自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、売上高は薬価改定の影響や医薬品輸出、特許料収入の減少により、減収を見込んでおります。利益につきましては売上高の減少に伴い、減益となる予定であります。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関への受診抑制などにより、影響が生じていることから、2020年10月27日に業績予想を修正しております。修正後の業績予想としましては、連結売上高は77,200百万円、営業利益は18,100百万円、経常利益は18,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は13,400百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,722	61,067
受取手形及び売掛金	21,800	20,018
有価証券	13,599	13,599
商品及び製品	4,762	6,269
仕掛品	2,829	3,379
原材料及び貯蔵品	4,683	5,957
その他	938	648
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	108,336	110,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,764	16,211
その他（純額）	8,753	9,158
有形固定資産合計	25,518	25,370
無形固定資産		
	414	467
投資その他の資産		
投資有価証券	15,036	16,190
その他	8,569	8,070
投資その他の資産合計	23,605	24,261
固定資産合計	49,538	50,099
資産合計	157,875	161,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,720	8,029
電子記録債務	962	114
短期借入金	3,850	3,850
未払法人税等	2,904	3,477
引当金		
賞与引当金	1,082	1,007
その他の引当金	410	294
その他	4,724	5,064
流動負債合計	21,655	21,837
固定負債		
株式給付引当金	47	35
退職給付に係る負債	7,303	7,229
その他	400	384
固定負債合計	7,750	7,649
負債合計	29,406	29,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,406	11,406
利益剰余金	114,869	119,174
自己株式	△23,373	△25,503
株主資本合計	126,756	128,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,116	3,917
退職給付に係る調整累計額	△1,404	△1,295
その他の包括利益累計額合計	1,712	2,621
純資産合計	128,468	131,552
負債純資産合計	157,875	161,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	45,170	36,789
売上原価	19,279	15,899
売上総利益	25,891	20,889
販売費及び一般管理費		
給料	3,174	2,971
賞与及び賞与引当金繰入額	718	681
退職給付費用	235	295
研究開発費	3,334	3,267
その他	4,684	3,891
販売費及び一般管理費合計	12,147	11,107
営業利益	13,744	9,782
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	211	218
その他	44	26
営業外収益合計	259	249
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	30	6
その他	34	7
営業外費用合計	74	22
経常利益	13,929	10,010
特別利益		
固定資産売却益	1	378
特別利益合計	1	378
特別損失		
固定資産除却損	34	18
減損損失	266	—
その他	6	5
特別損失合計	307	23
税金等調整前四半期純利益	13,623	10,365
法人税等	4,075	3,138
四半期純利益	9,547	7,226
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,547	7,226

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	9,547	7,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△334	800
退職給付に係る調整額	66	108
その他の包括利益合計	△268	909
四半期包括利益	9,279	8,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,279	8,135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,623	10,365
減価償却費	1,132	1,130
減損損失	266	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	81
受取利息及び受取配当金	△215	△223
支払利息	8	8
有形固定資産除却損	32	15
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	△378
売上債権の増減額 (△は増加)	6,879	1,782
たな卸資産の増減額 (△は増加)	841	△3,331
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,391	△538
その他	42	156
小計	19,218	9,068
利息及び配当金の受取額	215	223
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,768	△2,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,657	6,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,309	△895
有形固定資産の売却による収入	3	874
無形固定資産の取得による支出	△11	△67
その他	△198	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,517	△288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△4,249	△2,139
配当金の支払額	△2,977	△2,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,226	△5,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,913	1,344
現金及び現金同等物の期首残高	58,555	73,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,469	74,666

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、2020年5月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を420,000株、2,138百万円取得いたしました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は7,441,022株、25,503百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	43,976	1,194	45,170	—	45,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,976	1,194	45,170	—	45,170
セグメント利益(営業利益)	13,011	732	13,744	—	13,744

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「薬業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては266百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	35,611	1,178	36,789	—	36,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	35,611	1,178	36,789	—	36,789
セグメント利益(営業利益)	9,089	692	9,782	—	9,782

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。